

南スーダン：民間人保護区域で武力衝突、少なくとも 18 人が死亡、うち 2 人は MSF スタッフ

南スーダン・上ナイル州の州都マラカルにある国連民間人保護区域で 2 月 17 日夜、武力衝突が起き少なくとも 18 人が犠牲となった。そのうち 2 人は国境なき医師団 (MSF) の現地スタッフで、自宅で襲撃され命を落とした。MSF の病院にはその夜、MSF スタッフ 1 人を含む 36 人の負傷者が次々に運ばれ、現在も多くの負傷者が到着している。

最初の戦闘は約 3 時間続き、約 600 人（大部分は女性と子ども）が MSF 病院内に避難して来た。MSF は徹夜で負傷者を治療。当初来院した患者のうち、少なくとも 25 人が銃創を負い、うち 8 人は手術を必要としていた。

MSF のプロジェクト・コーディネーター、マーカス・バックマンは「今回の市民に対する攻撃は非道です。私たちは武装勢力に対し、これらの攻撃を止めるように要求します」と訴え、「保護を受けるための国連民間人保護区域は、どの紛争当事者からも避難所として尊重されなければなりません」と強調した。

マラカルの国連民間人保護区域には現在、約 4 万人が避難生活を送っている。多くは何か月も援助がなかった地域から着の身着のまま避難して来た人びとだ。この区域には、2013 年 12 月に紛争がこの地域でぼつ発して以降人びとが避難を始めたが、2015 年には 4 月に 1 万人、7 月と 8 月に合計 1 万 6000 人が避難し、避難者の総数は 1 年の間に倍増した。

MSF はマラカルで、24 時間稼働の救急処置室を備えたベッド数 50 床の病院、および国連民間人保護区域内で救急処置室を 1 室運営している。MSF は 1983 年、現在の南スーダン共和国を構成するスーダン南部で活動を開始。現在 2937 人の南スーダンの現地スタッフと 329 人の外国人スタッフが多岐にわたる医療上の緊急事態に対応し、無償で質の高い医療を南スーダン各地に設置した 18 のプログラムで提供。現在の活動地は同国 10 州のうち 7 州とアビエイ特別行政区となっている。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平／趙 潤華

TEL：03-5286-6141／6153 携帯：090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>

メディア向けツイッターアカウント開設しました。  @MSFJ_Press